

○ サンキライ(山帰来)

語 源

シオデ属 *Smilax* は、古いギリシャ語のスミーラクスに由来する。このスミーラクスとはある種の植物を指すが、何の植物を指すのかに関しては、文献によって色々と異なる。また、別説では、ギリシャ語スミーレー「ナイフ、彫刻のノミ」を由来とする説もある(トゲが多くて、サルトリイバラの茂みを通ると身を切るため)。属名の元となるシオデ(牛尾菜、*Smilax riparia* var. *ussuriensis*)とは、日本の山野に自生するつる性の植物。

種小名 *glabra* は、ラテン語で「凹凸のない、なめらかな」を意味する形容詞。ケナシサルトリイバラは、毛のないサルトリイバラ(*Smilax china*)の意。サルトリイバラは、巻きひげで他の木の枝にからみつき、トゲのある茎を張りめぐらすことから、「猿もひっかかるイバラ(茨)」という名が付いた。

生薬名の「山帰来」とは、病や高齢のために山に捨てられた人が、サルトリイバラの根によって元気になり、自分で山から帰ってきたことに由来するとされている。



▲ サルトリイバラ (*Smilax china*)

基 原

Smilax glabra Roxburgh ケナシサルトリイバラ
ユリ科 つる性落葉低木

中国ではこの生薬名を土茯苓(ドブクリョウ)というが、日本では一般に山帰来と呼んでいる。日本にはケナシサルトリイバラは自生していないが、よく似た同属植物のサルトリイバラ(*S. china*)が自生し、一般に山帰来とも呼ばれている。中国では菝葜(バッカツ)と称して区別して扱っている。なお、日本薬局方で規定されているサンキライは、ケナシサルトリイバラのみであり、サルトリイバラは含まれない。



薬用部分

塊茎

産 地

中国(広東、湖南、湖北、浙江、四川、安徽など)

主な成分

フラボノイド：アスチルビン

サポニン類： スミラックスサポニンA、B(ジオスゲニングリコシド)

主な薬効

抗炎症、駆梅、解毒、利尿、抗腫瘍

代表的処方

慢性皮膚疾患の排膿解毒あるいは体質改善薬、解毒薬として用いられる。

【香川解毒剤】

カガワゲドクザイ

梅毒による諸症状、諸々の皮膚疾患、淋病などに用いる。

(処方内容) 山帰来/木通/茯苓/川芎/忍冬/甘草/大黃

【八味帯下方】

ハチミタイゲホウ

膿性悪臭性の帯下を治す。

(処方内容) 当帰/川芎/茯苓/木通/陳皮/山帰来(土茯苓)/金銀花/大黃

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「漢方のくすりの事典」「和漢薬の事典」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp